

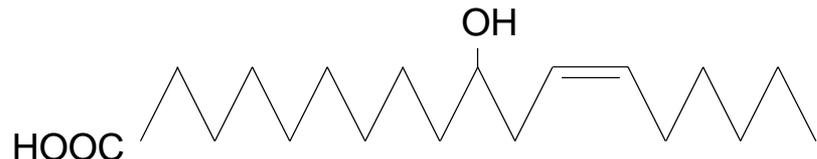
< 博士学位論文発表会 >

『腸内細菌代謝産物の腸管保護作用に関する研究』

近年、腸内環境と宿主のクロストーク、健康維持における腸管バリアの役割が注目を集めている。本研究は、マウスやヒト腸管上皮細胞を用いて、食事脂質リノール酸由来の腸内細菌代謝産物が腸管バリア機能へ及ぼす影響を探索した。

Dietary linoleic acid

Gut microbial metabolism



10-hydroxy-*cis*-12-octadecenoic acid; **HYA**

演者: **宮本 潤基** (生物圏科学研究科 生物機能開発学専攻)

日時: 2017年2月1日 16:00-17:00

場所: 生物生産学部 C316講義室

* 本発表会は、生物圏科学研究科の共同セミナーとして認められます

連絡先: 鈴木 卓弥 (内線: 7984)
takuya@hiroshima-u.ac.jp